競技・ハンディキャップ委員会議事録

競技・ハンディキャップ委員長　　岡田　孝之

日　時：令和４年５月１日　14：30～15:15

①　競技・ハンディキャップ委員新任について

→岡田委員長　：2022 年４月より競技・ハンディキャップ委員長就任
吉田副委員長：2022 年４月より競技・ハンディキャップ副委員長就任
石田委員　　：2022 年４月より競技・ハンディキャップ委員就任
髙梨委員　　：2022 年４月より競技・ハンディキャップ委員就任
富高委員　　：2022 年４月より競技・ハンディキャップ委員就任

②　競技委員の仕事について

→吉田副委員長より、競技委員の仕事の軽減も必要とのお話があった。
カートナビにスコアを入力し、それを提出することにより競技委員のアテストが必要なくなる。
月例杯、朝の競技委員の案内後、最終組で月例杯の参加することも可能ではないか。
⇒競技委員は、ほとんどがＡクラスの為、Ｂクラスの案内担当の方は、Ａクラスの参加に間に合わないのではないかとの意見もあった。

③　競技委員のスタート前の案内

→特にＢクラスの方でルールを理解していない方が多いので、スタート前の案内をもっと詳しく説明してあげる必要がある。
特に東６番・西４番のティイングエリアの防球ネットのローカル・ルールについて知らない方が多いので説明が必要。

④　2022 年度スクラッチ選手権報告

●日程・・・【予選】　４月 10 日（日）　予選参加者 24 名
【決勝】　４月 17 日（日）　予選通過者 16 名（90 ストローク）

●結果・・・【優勝】遠藤　優太　様　151 ストローク
【2 位】木村　圭吾　様　159 ストローク
【3 位】小野　雅嗣　様　168 ストローク

※今年度よりスクラッチ選手権の参加基準をハンディキャップ・インデックス 12.9 から 14.9 に変更し参加人数の増加を期待したが、前年とほぼ変わらなかった。

告知が不十分だった点も見受けられるので、来年はメンバーがより目に付く
マスター室前に掲示を行い告知を徹底していく。
同様に、クラブ選手権も告知をさらに行っていく。

⑤　ＷＨＳについて

→2022 年 4 月 1 日よりＪＧＡがＷＨＳ（ワールド・ハンディキャップ・システム）を導入した。
ハンディキャップ・インデックス未取得の方は、最低 3 枚提出で取得できるようになるなどの変更点があった。
※但し、競技に使用するハンディキャップ・インデックスは今までと変わらず、前月の１日のハンディキャップ・インデックスとする。
レストランに掲示いたしますハンディキャップ・インデックス一覧表も
毎月１日の数字を掲示する。

《※議題：①》

・自分でスコアを入力している人たちもいる。自分で入力した際、不正も考えられるため自分で入力が出来なくする方法はないのか。
→特に、新しい会員にはスコアの入力はご自身ではなく、ゴルフ場に提出してもらえるようマスター室よりお声掛けを行う。同時に、他クラブでプレーしたスコアカードも提出してもらえることを案内する。

※次回の競技・ハンディキャップ委員会は、2022 年 8 月 7 日（日）開催予定。

以上